

第11号 花畑周辺地域 公共交通検討ニュース



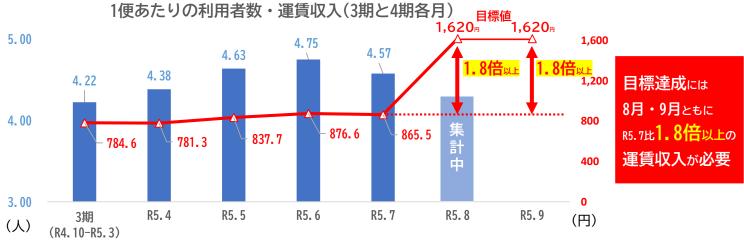
令和5年9月

1

利用者数は横ばいであり

収支率24%

本格運行への移行条件の達成は極めて厳しい状況です



■■1便あたりの乗車人数(人)

━Δ━1便あたりの運賃収入(円)

2

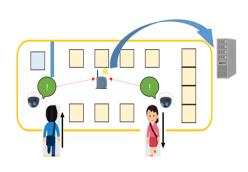
沿線の交通需要について再検証を行うため

 $R5.5\sim7$

乗降調査<mark>を実施</mark>しました

乗降調査の概要

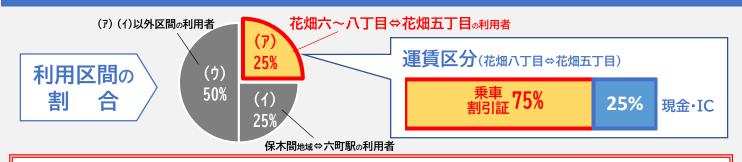
方 法	センサーカウントにょる調査				
	乗車口と降車口にセンサーを設置し、 バス停毎の乗車数と降車数を計測				
実施日数	60日間 (平日47便・土休日37便)				
対象便	全 便 (平日47便·土休日37便)				



センサーシステムのイメージ図

- ※ センサーカウントによる調査のほか、区職員が一部の便に乗車して利用者の乗降状況等を確認しました。
- ※ 令和5年1月より、バス乗務員の協力を得て、乗車割引証利用者の乗車バス停を全便 記録しています。

① 調査結果 【花畑六~八丁目⇔花畑五丁目ベルクスモール前】



花畑八丁目(花畑桑袋団地)の方が、ベルクスモール(花畑五丁目)にバスで出かける場合・・・

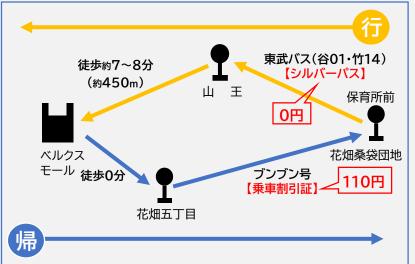
ブンブン号利用者数

536_{A*}

く 帰り (花畑五丁目から乗車) 行きの 約<mark>1.7倍</mark>

※R5.5.22-R5.7.20の累計利用人数

- Q "行き"より"帰り"の乗車人数が多い理由は?
- "行き"はブンブン号ではなく、シルバーパス利用可能なバス(谷01・竹14) A "帰り"は買物の荷物があるため、花畑五丁目バス停からブンブン号を利用される方が多いためと考えられます

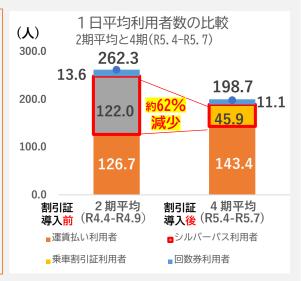


至 桑袋団地 山王バス停 ベルクスにお買い物 **ヘドラ**ッグストア 至 谷塚 に行く際、"行き" はシルバーパスを利 用して【山王】まで、 450m "帰り"は【花畑五 丁目】からブンブン 号を利用する人もい 毛長川 ますよ(R5.7区職員によ 花畑大橋 る乗降調査時に聞き取り)。 足立花畑 至 桑袋団地 利用者の声 花畑五丁目バス停 至 文教大学

収支率向上のための方策として、令和4年10月よりブン ブン号でのシルバーパス利用に変えて、110円で乗車可能 な乗車割引証(70歳以上対象)を導入しました。

乗車割引証導入前に実施したアンケート調査では「乗車割引証導入後も利用頻度は変わらない」と答えた方が50%でした。しかし、実際の乗車割引証の利用者数は、導入前より約62%減少しました。

「バス運賃の負担」が想定以上に高齢者の移動手段の選択に大きな影響を与えていることが分かりました。



② 調査結果【保木間地域_{元渕江公園・保木間一丁目・東保木間一丁目}⇔六町駅】



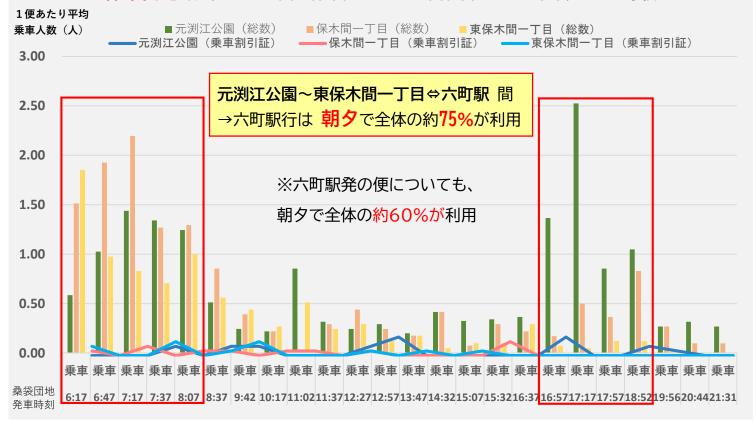
利用者数

早朝・夕方

日 中 少

→ 通勤利用が中心であることが分かりました

保木間地域(元渕江公園・保木間一丁目・東保木間一丁目乗車)⇒六町駅



③ 調査結果【1個あたりの利用が多い便・少ない便 上位3本・下位3本】

		利用が 多い 便				利用が 少ない 便			
		花畑桑袋団地発		六町駅発		花畑桑袋団地発		六町駅発	
平日	1	7:37	12人	7:57	7.6人	15:07	2.9人	8:47	3.5人
	2	7:17	9人	17:17	6.9人	13:47	3.7人	6:57	4.2人
	3	8:07	8.7人	11:42	6.3人	16:37	3.9人	9:17	4.2人
土曜	1	9:52	8.6人	14:02	9.9人	19:07	1.5人	9:42	1.8人
	2	12:37	7.8人	12:37	8.6人	7:17	2.9人	17:37	2.3人
	3	11:57	7.4人	11:37	8.3人	17:47	3.1人	17:07	2.4人
日・祝	1	11:57	8.4人	11:02	6.7人	17:47	1.4人	7:07	1.9人
	2	9:02	6.3人	12:37	6.3人	19:07	1.4人	7:57	1.9人
	3	10:22	5.7人	10:32	5.8人	8:37	1.7人	17:07	2人

利用が多い便は午前中に集中

日・祝の利用が極端に少ない

④ まとめ

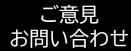
乗降調査等の結果、ブンブン号路線の北側(花畑桑袋団地⇔花畑五丁目)と南側 (保木間地域⇔六町駅)とでは、利用の目的(買物・通勤など)や利用の多い時間帯な どが大きく異なり、<mark>バスのような定期運行型の交通手段</mark>は、<u>適していない</u>ことがわか りました。

⑤ 今後の取り組み

今後は、他自治体のさまざまな事例も参考にしながら、沿線地域の需要に合わせた「グリーンスローモビリティ」や入谷・鹿浜地区で検討している「デマンド交通」のような少量輸送の移動手段※について、導入手法も含め検討していきます。

※ 少量輸送移動手段の導入事例

	グリーンスローモビリティ (千葉県松戸市)	特別養護老人ホーム 事業所による買物支援 (足立区舎人)	【R6.6-12 予定】 デマンド交通実証実験 (足立区入谷・鹿浜)	
概要	時速20キロメートル未満で 公道を走ることができる、 電動車を活用した移動サー ビス。	特別養護老人ホーム事業所 が保有している福祉車両を 活用した移動サービス。	タクシー車両で、自宅と共 通乗降場間を移動可能な移 動サービス(事前に利用者 登録・予約が必要)。	
車両	電動車(8人乗り)	福祉車両 (10人乗り等)	自宅 共通 乗降場	
実施主体	地域住民(ボランティア)	特別養護老人ホーム事業所	足立区・タクシー事業者	
運行 区間	松戸市内 (スーパー・公園など)	集合住宅集会所⇔商業施設	入谷・鹿浜地区内 (自宅と共通乗降場間)	



足立区 都市建設部 交通対策課 交通計画係 TEL:03-3880-5718(直通) FAX:03-3880-5479

